



## 東地中海地域ニュース

### トルコ：サブプライムローン問題・金融市場の動向について

(2月14日付現地紙)

大幅な経常収支赤字を抱えるトルコのような新興国市場において、アメリカのサブプライムローン問題に起因する不安により、大量の資金流出が起きている。

1. 12日、イスタンブール株式市場（IMKB-100）は、前日から2,197ポイント上昇し、43,539ポイントで取引を終了したが、サブプライムローン問題による世界的な金融市場の混乱の影響により、年初から25.56%も値を下げている。
2. ブルームバーグの発表によれば、2008年1月において、外国人投資家が925百万ドル相当のトルコ株式を売却したということである。特に銀行株式の売却額は多く、トルコの第三大手銀行であるギャランティ銀行は188.9百万ドル、イシュ銀行は158.9百万ドル、ワクフ銀行は94.4百万ドルとなっている。金融関係者は、市場の動揺は2008年半ばまで継続し、資金流出もしばらく続くと予測している。
3. トルコ・リラ（YTL）に関しても、12日には若干、値を戻したものの、年初の価格と比べるとドルに対し3.70%、ユーロに対し3.37%も値を下げている。専門家によれば、近日中に1ドル=1.28YTLまで下がると予測している。また現在強力な外資系ファンドがドル買いを進めているようであり、1ドル=1.25YTLのレベルを超えた場合、1ドル=1.30YTLに達するのは早いのではないかと見ている。

#### 為替相場の推移（トルコ中央銀行発表、対米ドル）

2月6日	1.1810
2月7日	1.1941
2月8日	1.1981
2月11日	1.2224
2月12日	1.2142